



2026年3月期

第2四半期決算説明会



2025年11月4日
ヤマハ株式会社

決算発表のポイント

決算概要

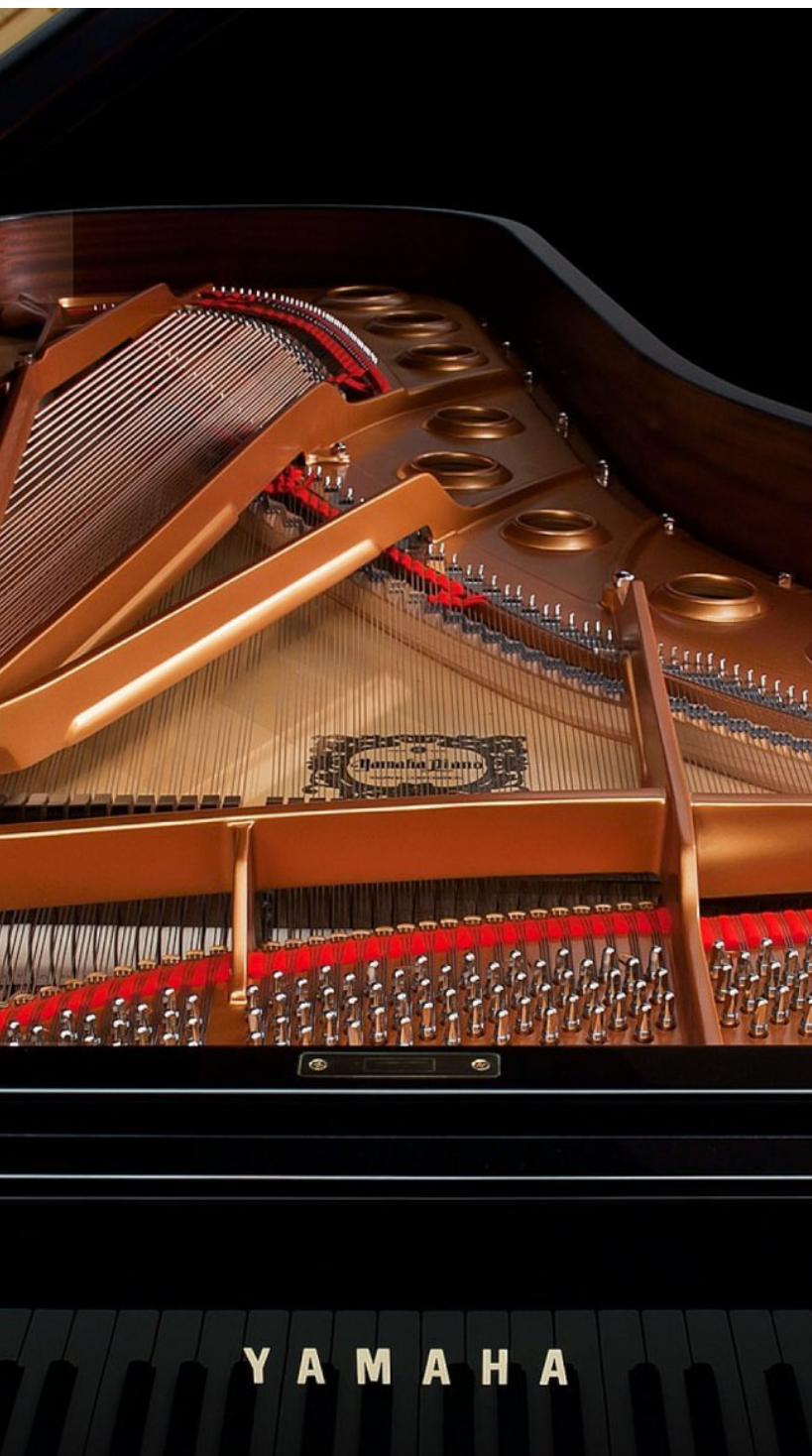
【26/3月期 上期実績】

- ・売上収益は、中国の市況低迷、プロフェッショナル音響機器の高需要一巡に加え、欧州の市況回復が遅れ減収
- ・事業利益は、米国追加関税の影響、高粗利のプロフェッショナル音響機器減少によるミックス悪化等により減益

業績予想

【26/3月期 通期予想】

- ・プロフェッショナル音響機器の高需要一巡、中国市況低迷により減収を予想
- ・米国関税影響、モデル・地域ミックスの悪化等により減益を予想



1. 決算概要

業績概要

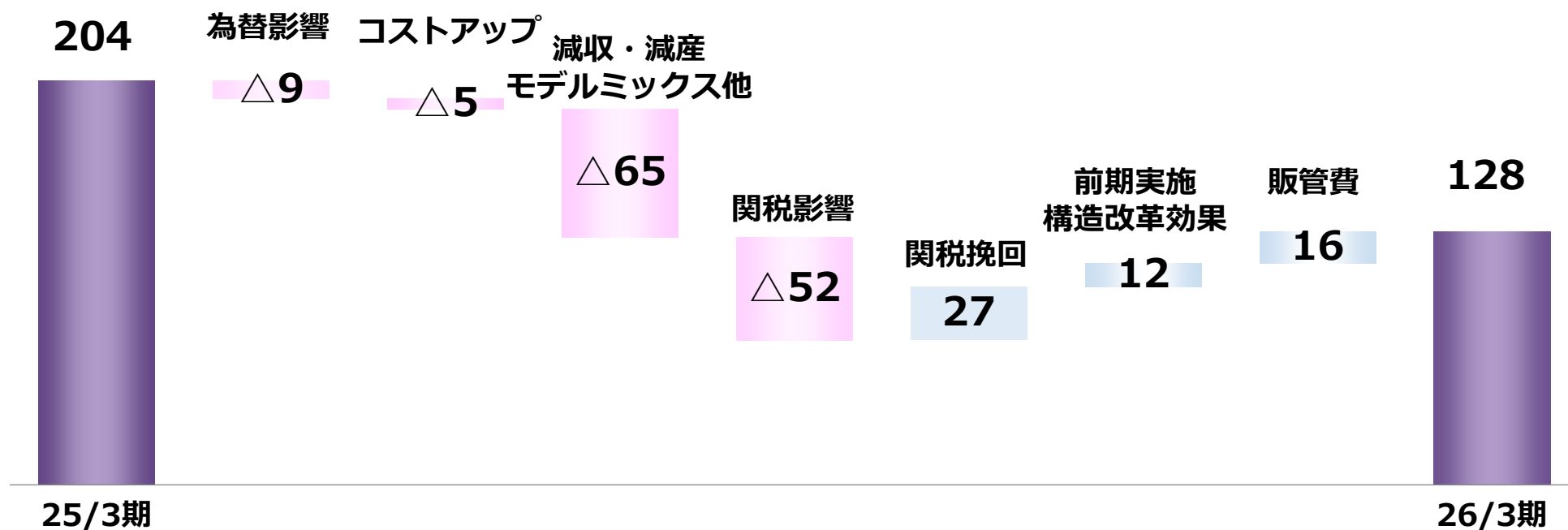
(億円)

	25/3	26/3	前期比	
売上収益	2,281	2,164	△118	^{*2} △5.2%
事業利益 (事業利益率)	204 (9.0%)	128 (5.9%)	△76	△37.4%
当期利益 ^{*1}	53	98	45	+85.4%
*1 親会社の所有者に帰属する当期利益				
為替レート (円)				^{*2} △2.9% (為替影響除く)
US\$	153	146		
EUR	166	167		

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



事業別業績

(億円)

		25/3	26/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	1,452	1,404	△48	△36
	事業利益	106	77	△29	△5
	事業利益率	7.3%	5.5%	△1.8P	
音響機器事業	売上収益	748	677	△72	△14
	事業利益	99	54	△45	△2
	事業利益率	13.2%	7.9%	△5.3P	
その他の事業	売上収益	81	83	2	△2
	事業利益	△0	△3	△2	△2
	事業利益率	△0.4%	△3.2%	△2.8P	

通期業績予想

(億円)

	25/3	26/3 (前回予想)	26/3 (今回予想)	前期比	前回予想比
売上収益	4,621	4,520	4,580	$\triangle 41^{*2}$	60
事業利益 (事業利益率)	367 (7.9%)	320 (7.1%)	330 (7.2%)	$\triangle 37$	10
当期利益 ^{*1}	134	225	230	96	5

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

*2 +0.8%
(為替影響除く)

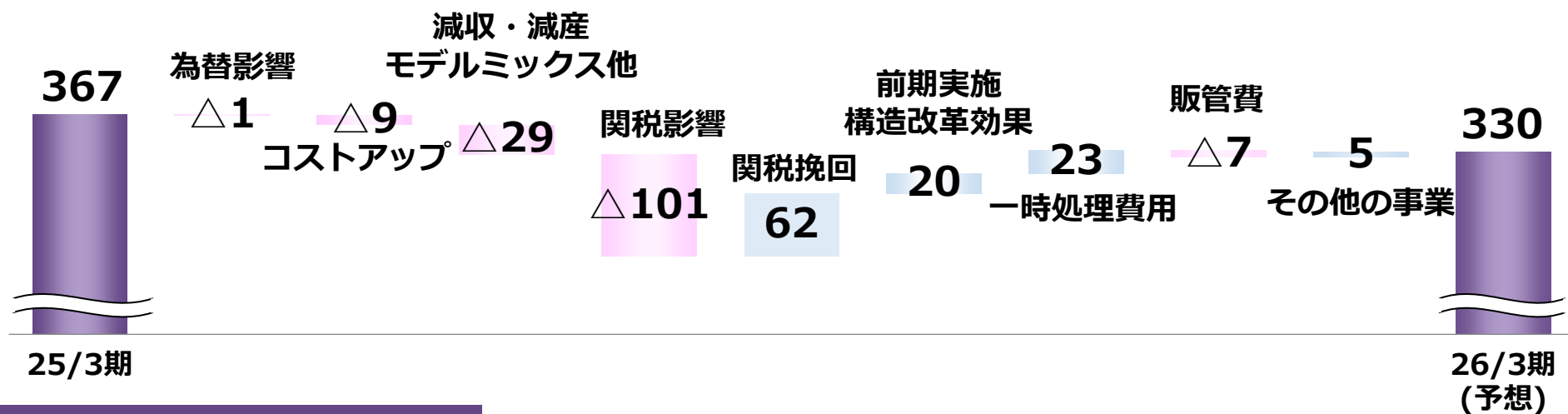
為替レート (円)				1円変動による影響額
US\$	153	145	146	売上収益 約8.8億円 利益 約1.1億円
EUR	164	161	169	売上収益 約6.2億円 利益 約3.7億円

※下期の為替前提は、US\$145円、ユーロ170円

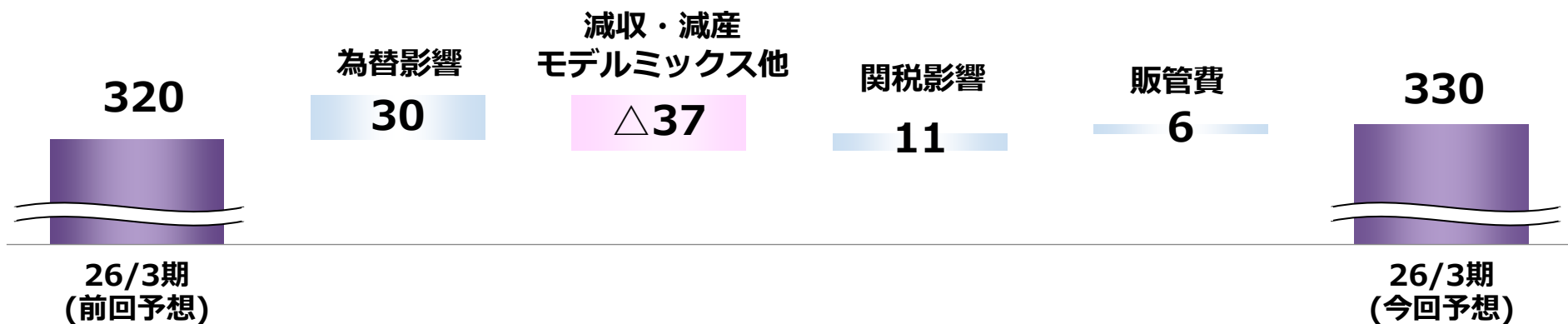
事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



前回予想との比較



2026年3月期 上期実績

2026年3月期 通期予想

事業別業績予想

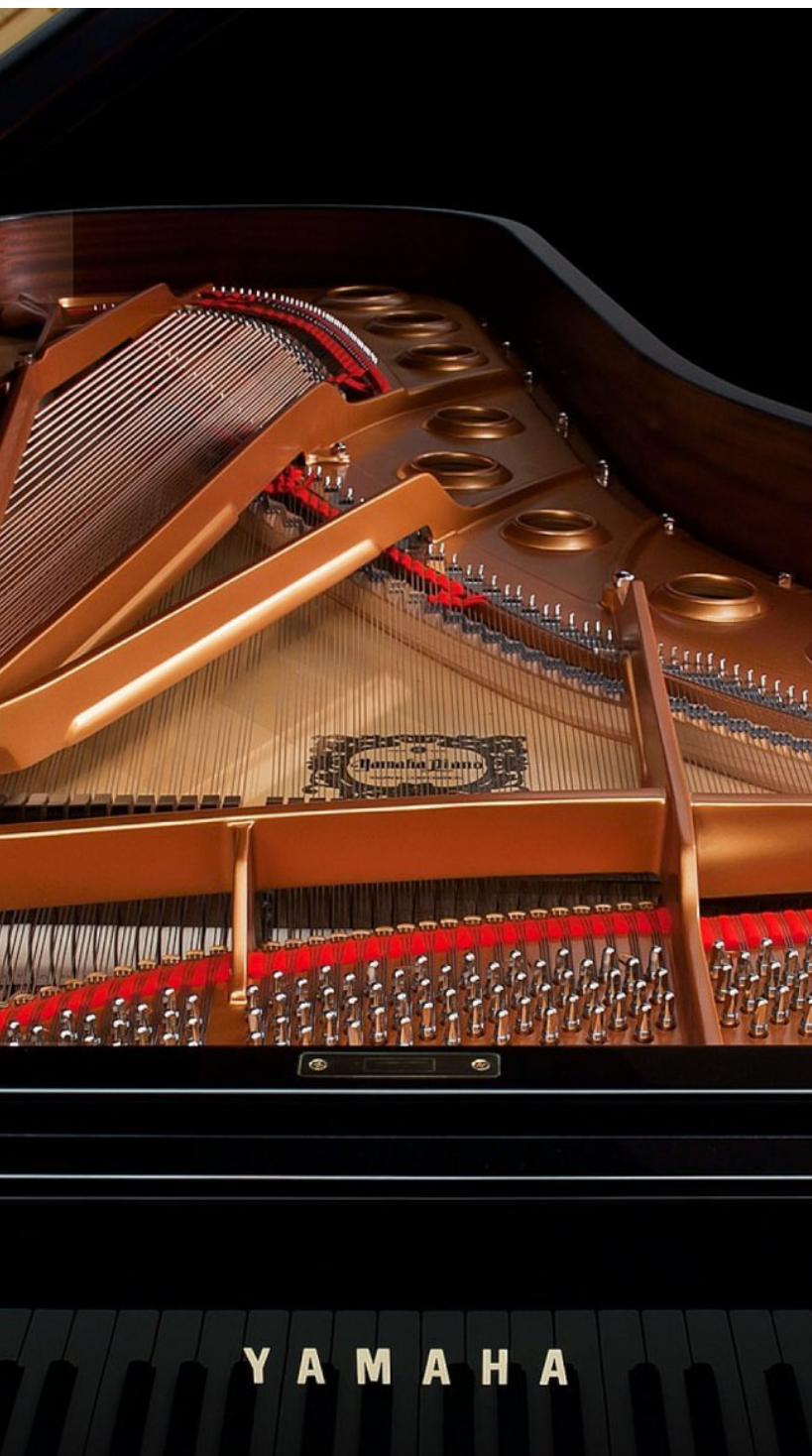
(億円)

		25/3	26/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,961	2,990	29	△57
	事業利益	221	215	△6	1
	事業利益率	7.5%	7.2%	△0.3P	
音響機器事業	売上収益	1,478	1,390	△88	△19
	事業利益	143	110	△33	2
	事業利益率	9.7%	7.9%	△1.8P	
その他の事業	売上収益	182	200	18	△4
	事業利益	3	5	2	△3
	事業利益率	1.6%	2.5%	+0.9P	

事業別業績予想・前回予想比

(億円)

		26/3 (前回予想)	26/3 (今回予想)	前回予想比	為替影響
楽 器 事 業	売 上 収 益	2,930	2,990	60	53
	事 業 利 益	205	215	10	22
	事 業 利 益 率	7.0%	7.2%	+0.2P	
音 響 機 器 事 業	売 上 収 益	1,390	1,390	0	24
	事 業 利 益	110	110	0	8
	事 業 利 益 率	7.9%	7.9%	0P	
そ の 他 の 事 業	売 上 収 益	200	200	0	0
	事 業 利 益	5	5	0	0
	事 業 利 益 率	2.5%	2.5%	0P	

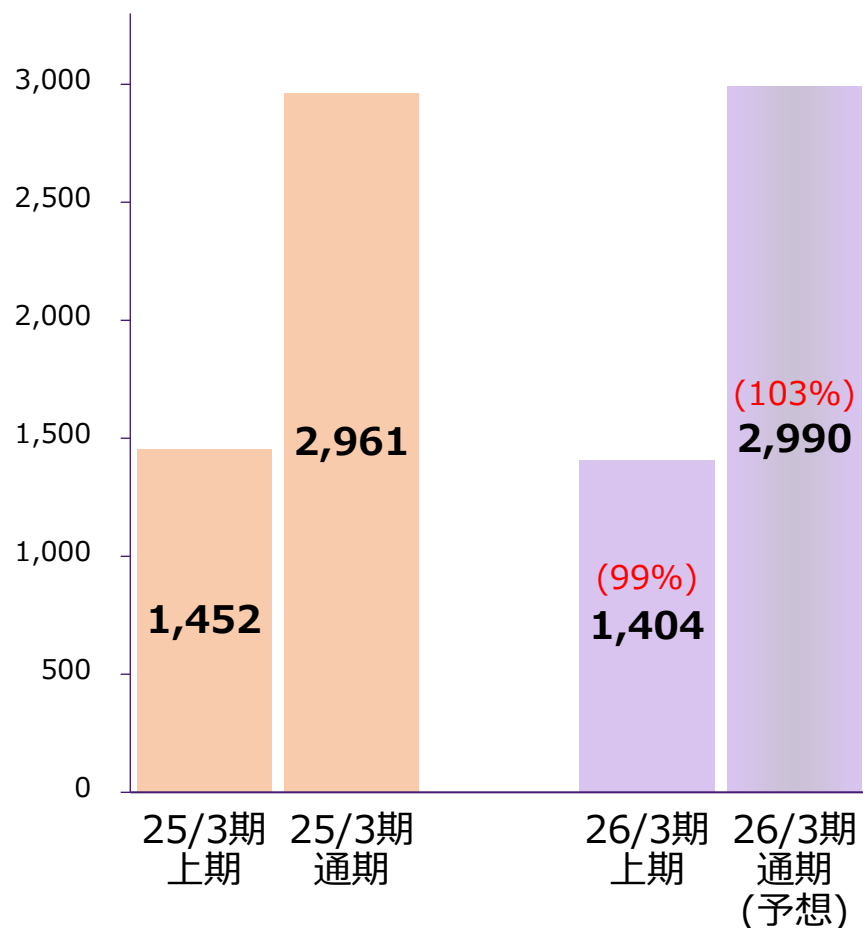


2. 事業別概要

売上収益・事業利益

売上収益

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[上期状況] 楽器ハードはピアノを除き増収に転じる

- ・ピアノは中国低迷と欧州の市況回復が遅れ減収、電子楽器は堅調なDP*に加えPK*回復し増収、管弦打楽器は日本の好調が続ки増収、ギターはAG*を中心に好調続き増収

[通期見込] ピアノを除き復調し増収予想を堅持

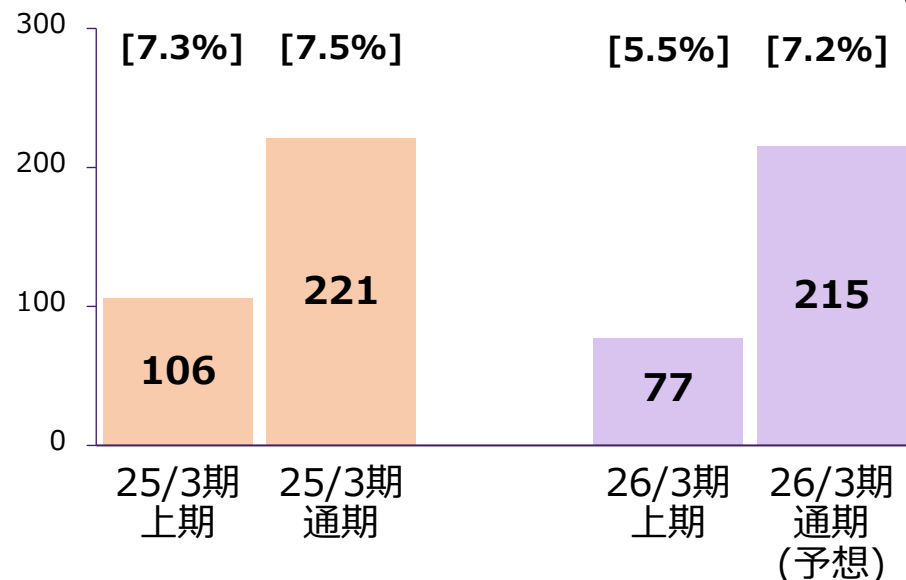
- ・ピアノは中国低迷が続き減収、電子楽器は中国を除く全地域が回復し増収、管弦打楽器、ギターは堅調で増収を予想

*DP：デジタルピアノ、PK：ポータブルキーボード
 AG：アコースティックギター

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益

(億円)



[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

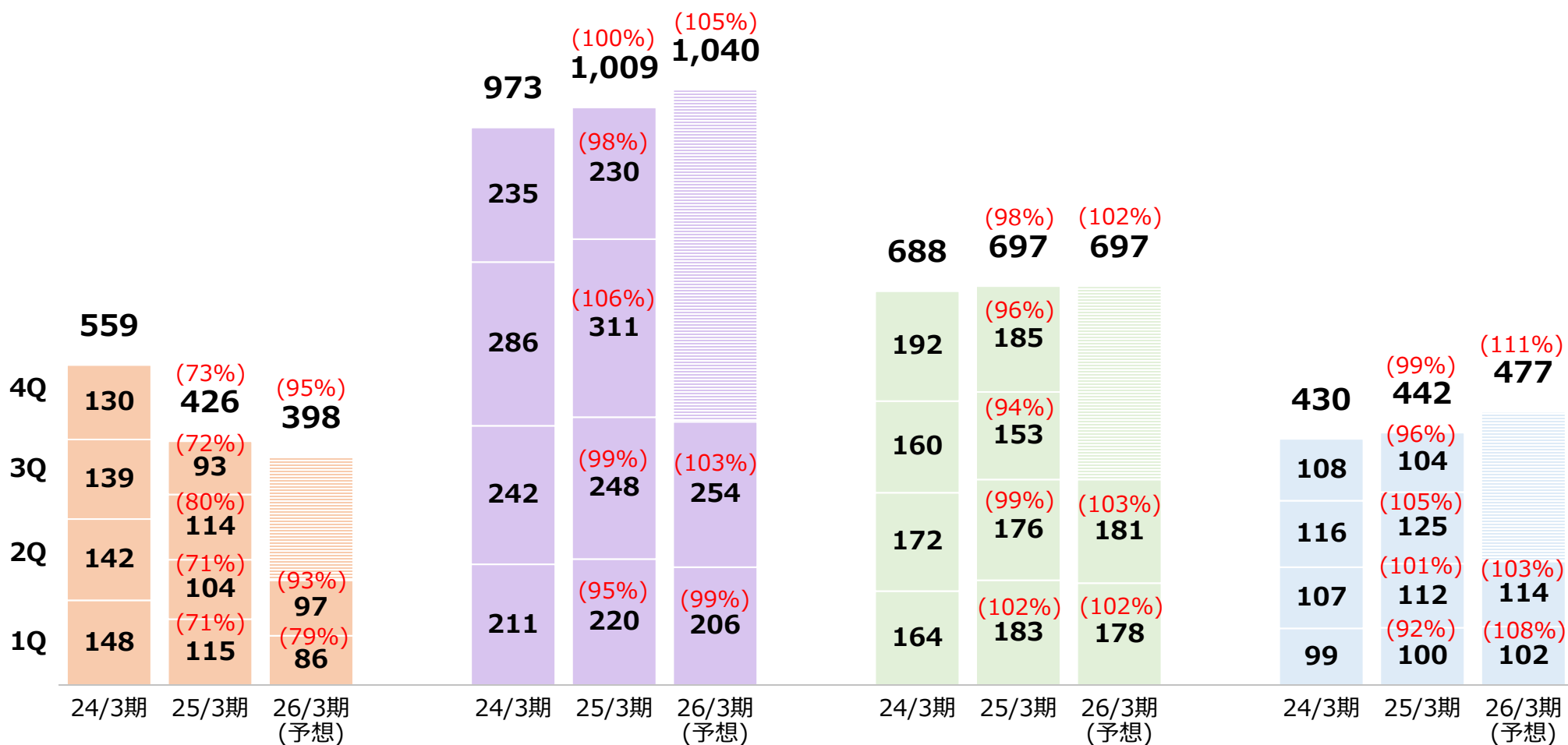
ピアノ

電子楽器

管弦打楽器

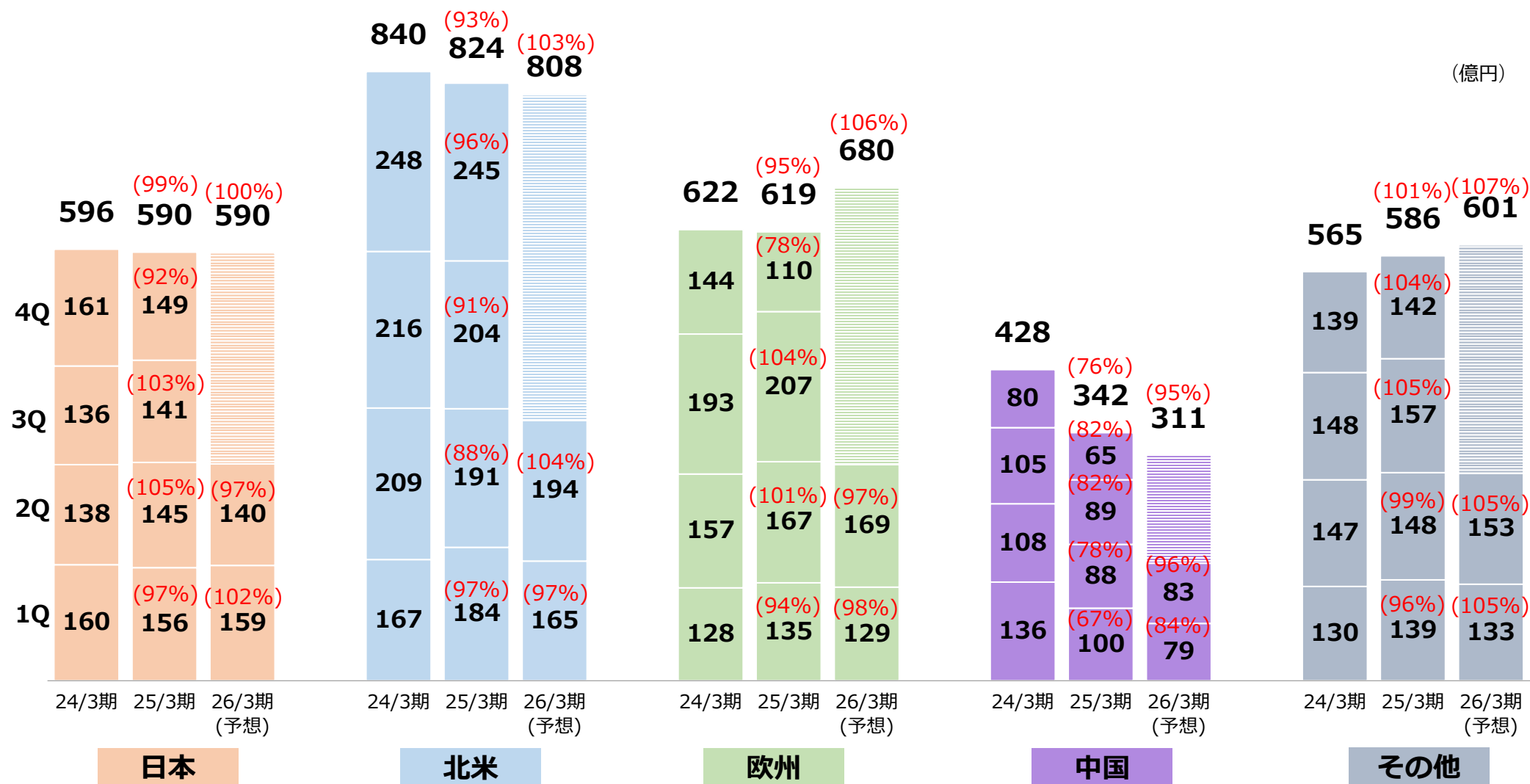
ギター

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別 販売状況

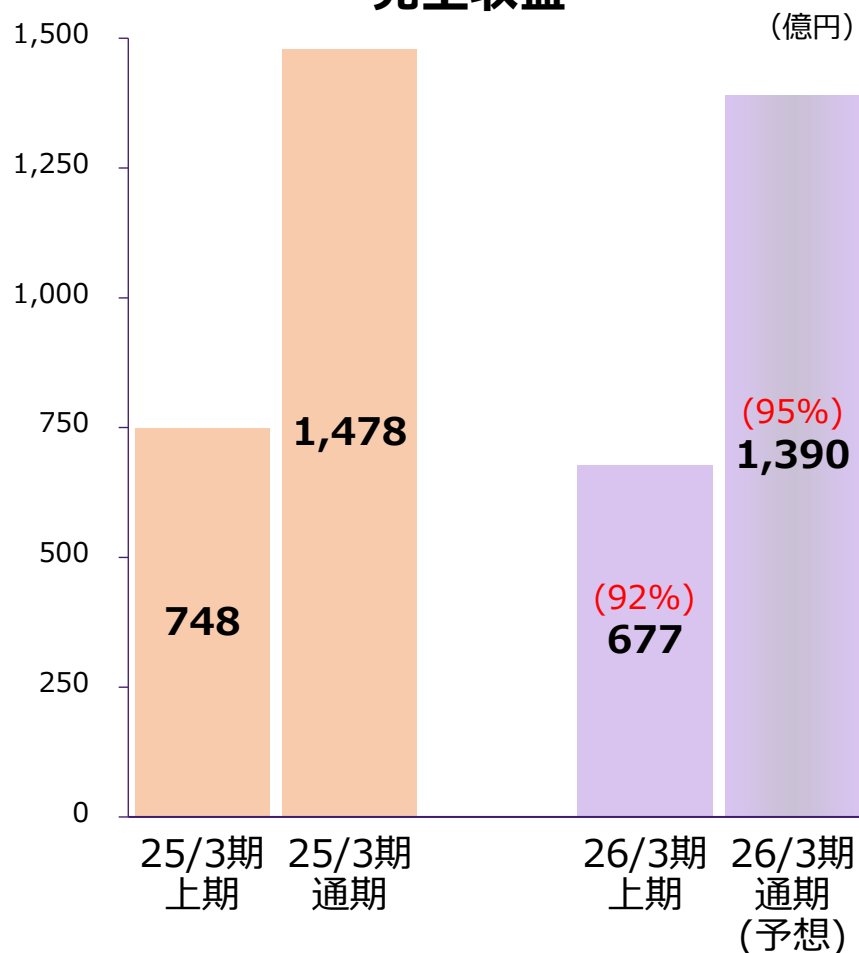


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※ソフト、音楽教室等を含む

売上収益・事業利益

売上収益



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

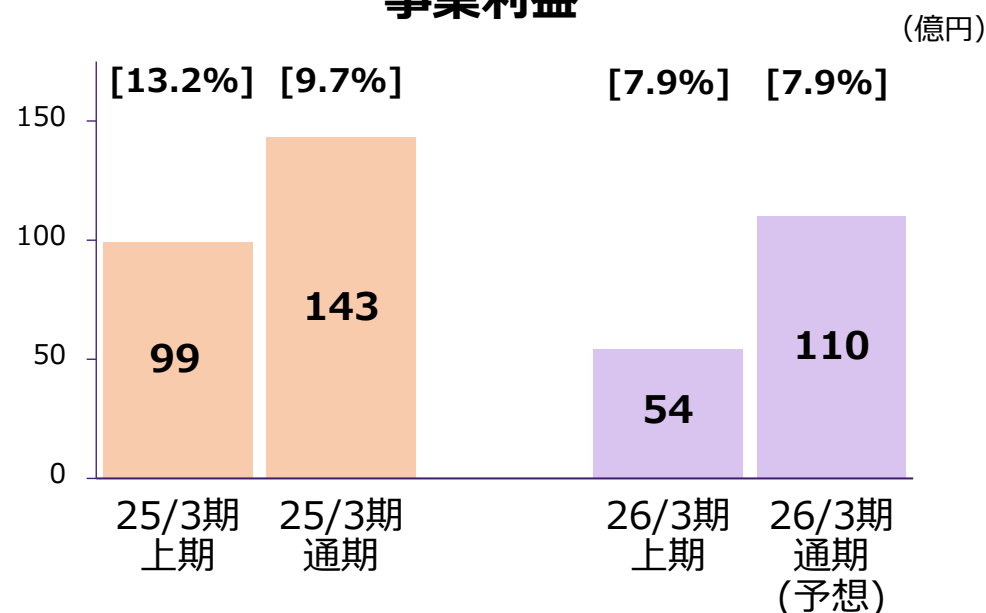
[上期状況] プロフェッショナル音響機器、モビリティ音響機器の増収一服

- ・コンシューマー音響機器はホームオーディオ縮小
- ・プロフェッショナル音響機器は新興国好調も、前年高需要が一服した欧州が大幅減
- ・モビリティ音響機器は日本が倍増も、想定通り中国向けが減少

[通期見込] プロフェッショナル音響機器の欧米の増収一服、中国での車載オーディオ販売減を見込み減収を予想

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



[]内は事業利益率

※2026年3月期より個人向けをコンシューマー音響機器、法人向けをプロフェッショナル音響機器、車載向けをモビリティ音響機器に名称変更しています

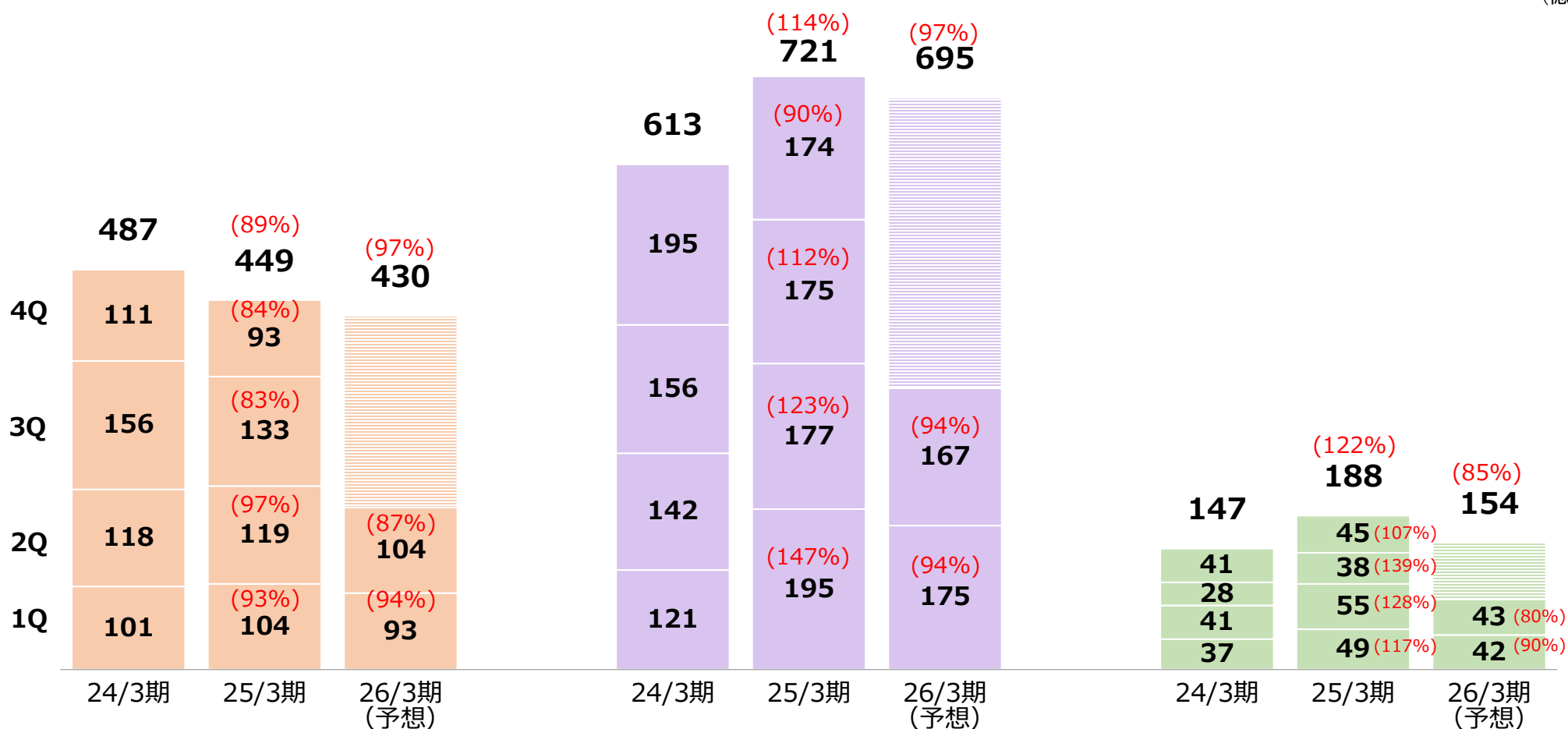
主要商品 販売状況

コンシューマー 音響機器

プロフェッショナル 音響機器

モビリティ 音響機器

(億円)

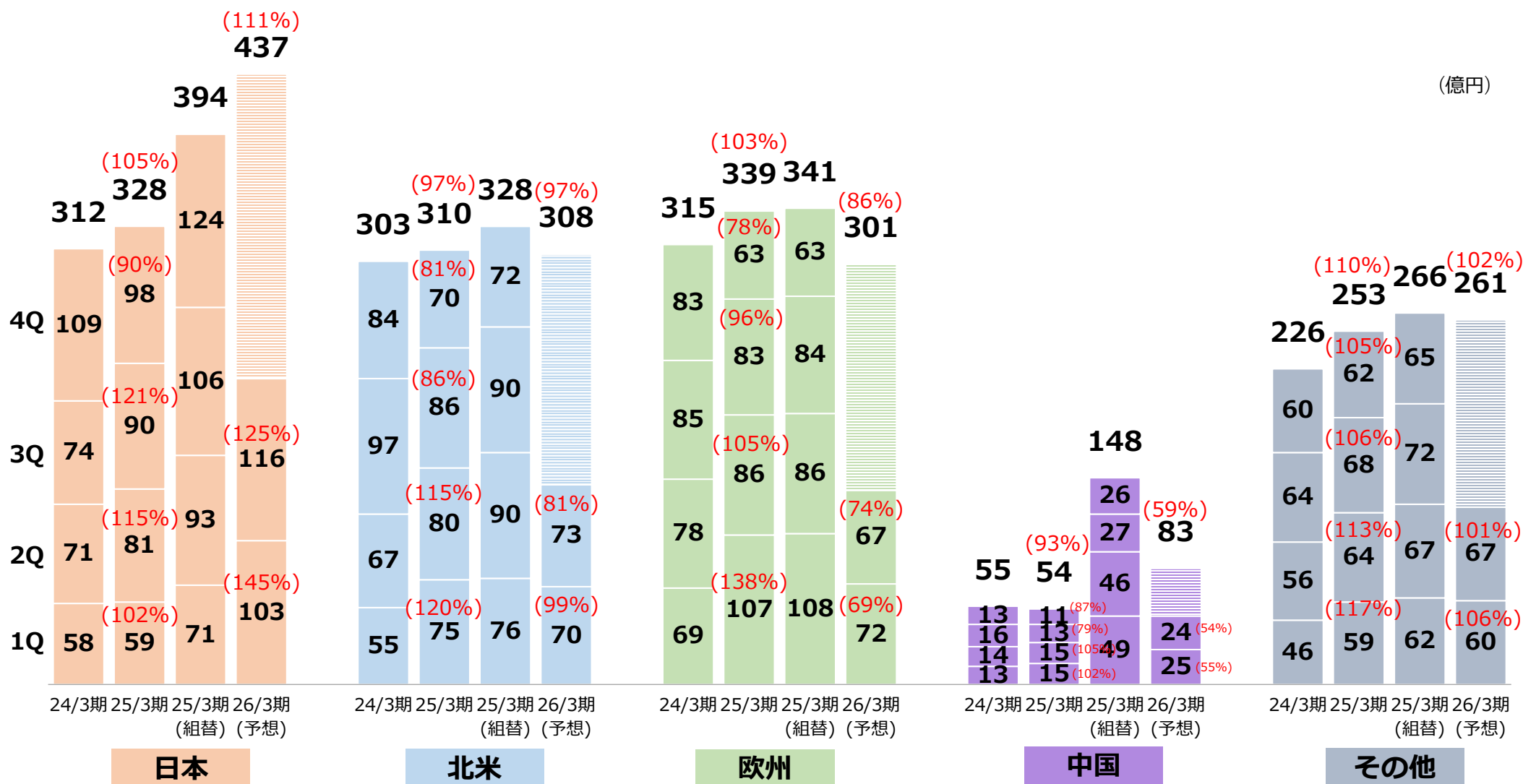


()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※2026年3月期より個人向けをコンシューマー音響機器、法人向けをプロフェッショナル音響機器、車載向けをモビリティ音響機器に名称変更しています

地域別 販売状況

(億円)



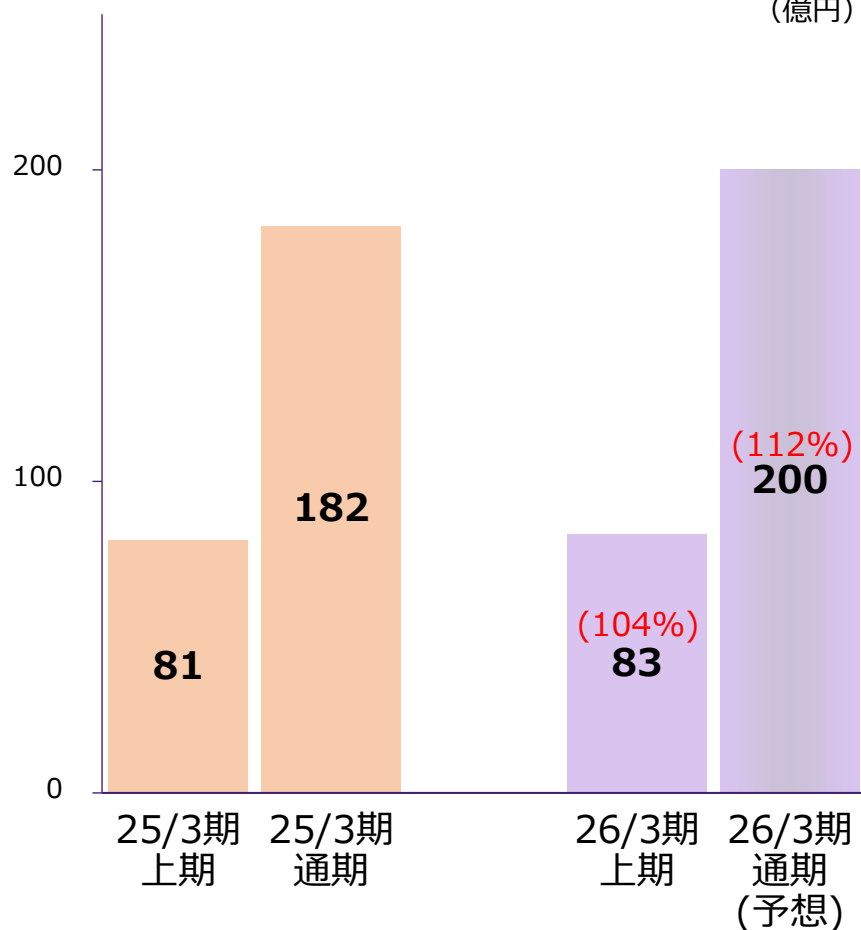
()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

※2026年3月期よりモビリティ音響機器（旧電子デバイス事業）を部品・装置、その他の事業から音響機器事業に組み替えています

売上収益・事業利益

売上収益

(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

[上期状況]

- 自動車用内装部品の好調継続

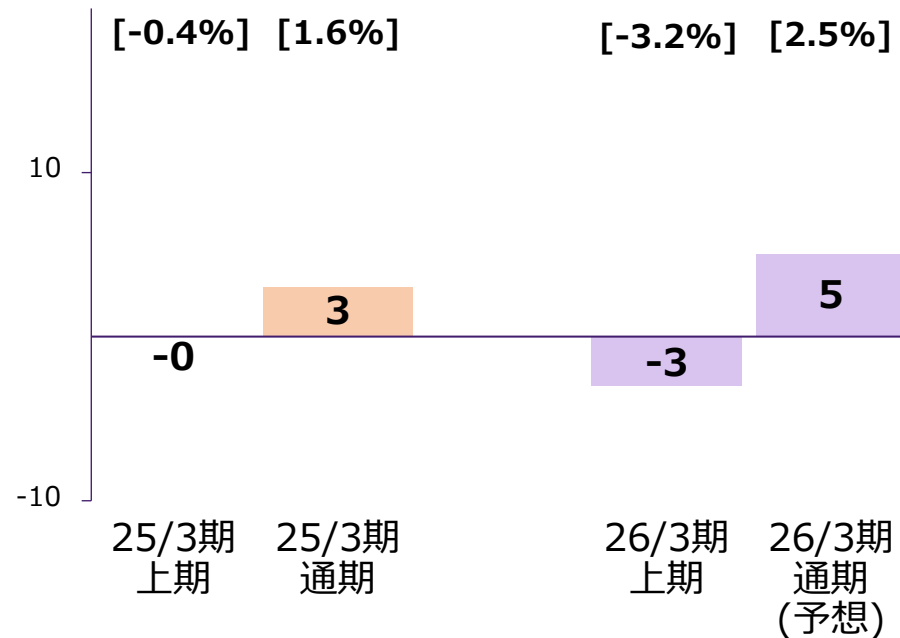
[通期見込]

- 自動車用内装部品の好調に加え、FA機器復調により増収を予想

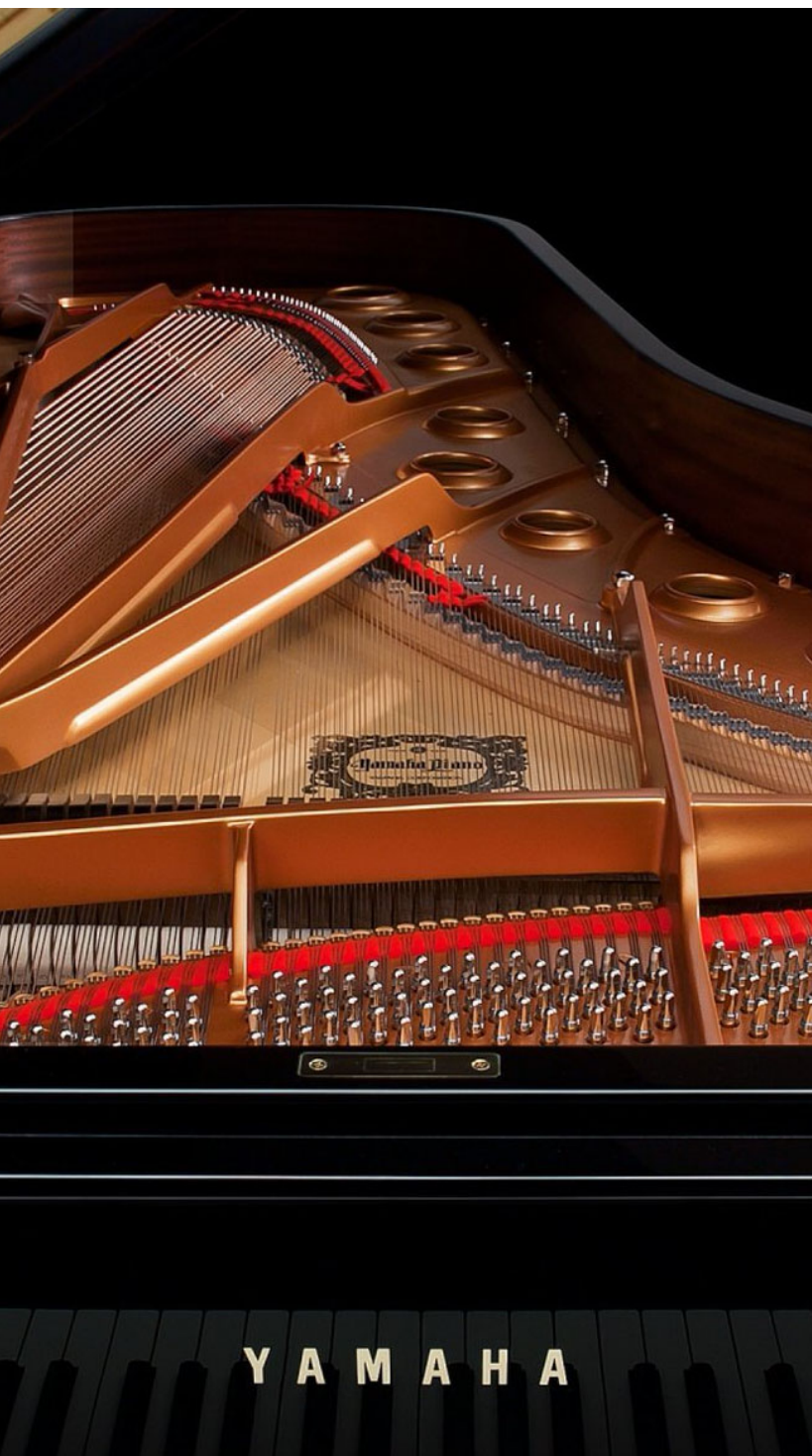
(増減収はすべて実質ベース)

事業利益

(億円)



[]内は事業利益率



3. その他財務数値

貸借対照表

(億円)

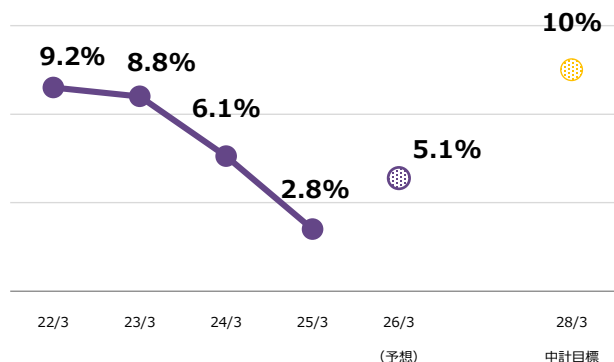
	25/3末	25/9末	増減	26/3末 (予想)
現金及び現金同等物	998	1,075	77	940
営業債権他	873	803	△70	883
その他金融資産	52	43	△9	52
棚卸資産	1,505	1,560	55	1,470
他流動資産	91	82	△9	108
非流動資産	2,393	2,421	28	2,356
資産計	5,913	5,984	72	5,810
流動負債	1,067	1,013	△53	958
非流動負債	345	358	13	345
資本計	4,501	4,613	112	4,507
負債及び資本計	5,913	5,984	72	5,810

※当社は、2025年11月4日開催の取締役会において自己株式取得に係る事項を決議いたしました。
 当期予想については、当該自己株式の取得の影響を考慮しておりません。

ROE、ROIC、株主還元等

ROE 26/3期（予想） 5.1%

（株主資本コスト* 6.8%） *CAPMベース



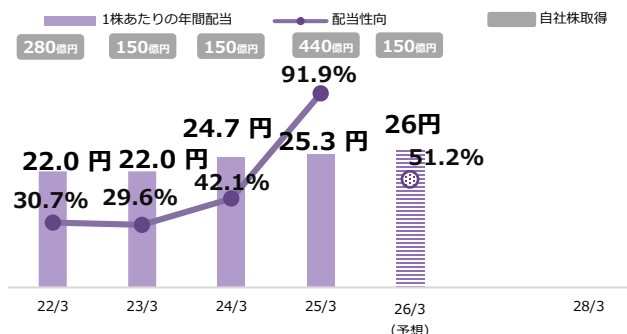
Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

<現状評価と改善に向けた方針>

収益悪化に歯止めをかけるもROEは5.1%と依然株主資本コストを下回る見通し。引き続き収益の改善および、株主還元の着実な実行により、株主資本コストを上回るROEを目指す。

株主還元



総還元性向

135.1%

目標 50%以上

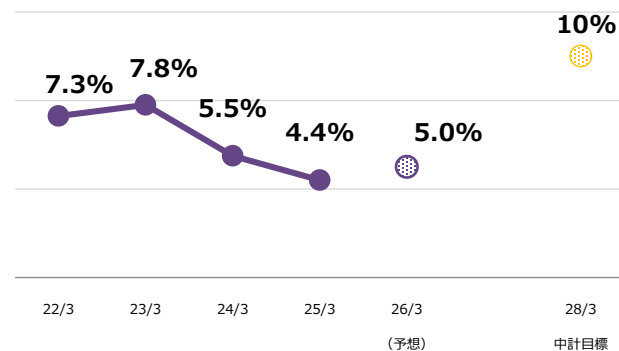
Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

*2024年10月1日付で、1株につき3株の株式分割を行っています。上記グラフは分割を考慮して1株当たり配当金を表示しています。
 **2025年11月4日開催の取締役会において自己株式取得に係る事項を決議しました。26/3期予想の株主還元を含めています。

ROIC 26/3期（予想） 5.0%

（WACC 6.6%）

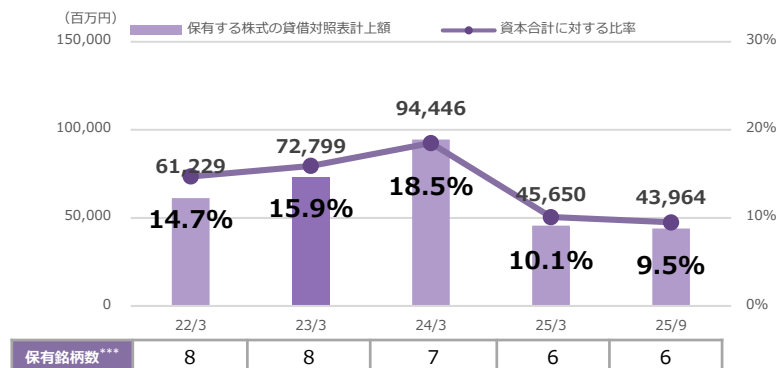


Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

ROIC = 税引後事業利益 ÷ (親会社の所有者に帰属する株主資本 + 有利子負債)

政策保有株式



保有銘柄数***

8

8

7

6

6

Make Waves 2.0

Rebuild & Evolve

*** 上場株式（株主に対する情報提供方法などの情報収集のため保有している銘柄を除く）

自己株式取得

【決議日】	2025年11月4日
【理由】	株主還元と資本効率の向上を図るため
【取得期間】	2025年11月5日～2026年3月31日
【取得総数】	2,000万株（上限とする） 発行済株式総数(自己株式除く)に対する割合4.4%
【取得総額】	150億円（上限とする）
【取得方法】	東京証券取引所における市場買付

今回取得する自己株式はすべて消却する予定です

※2025年9月30日時点の発行済株式総数（自己株式除く） 453,385,763株

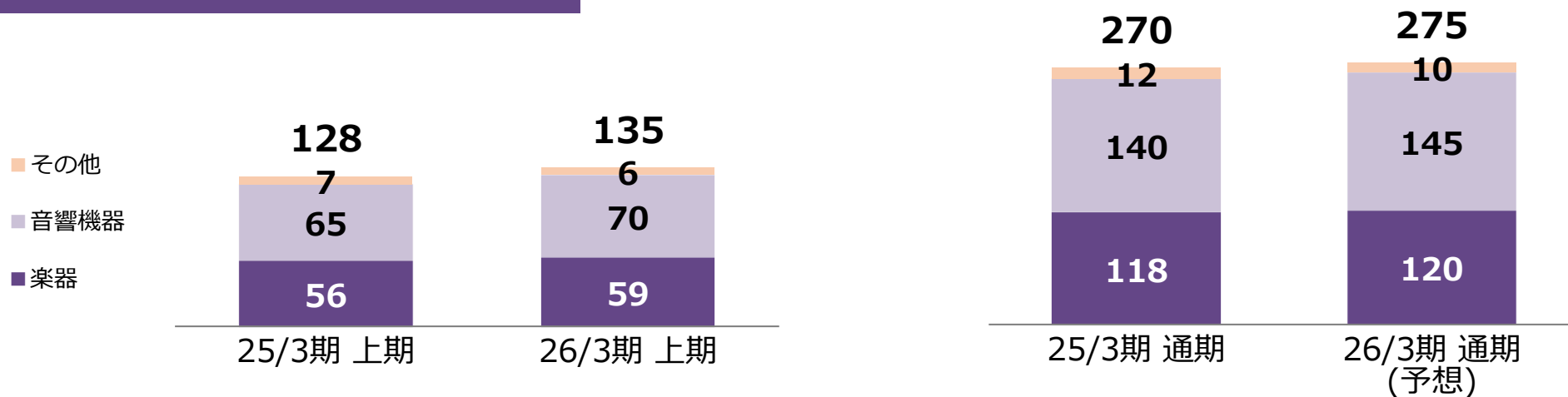
設備投資額・減価償却費/研究開発費

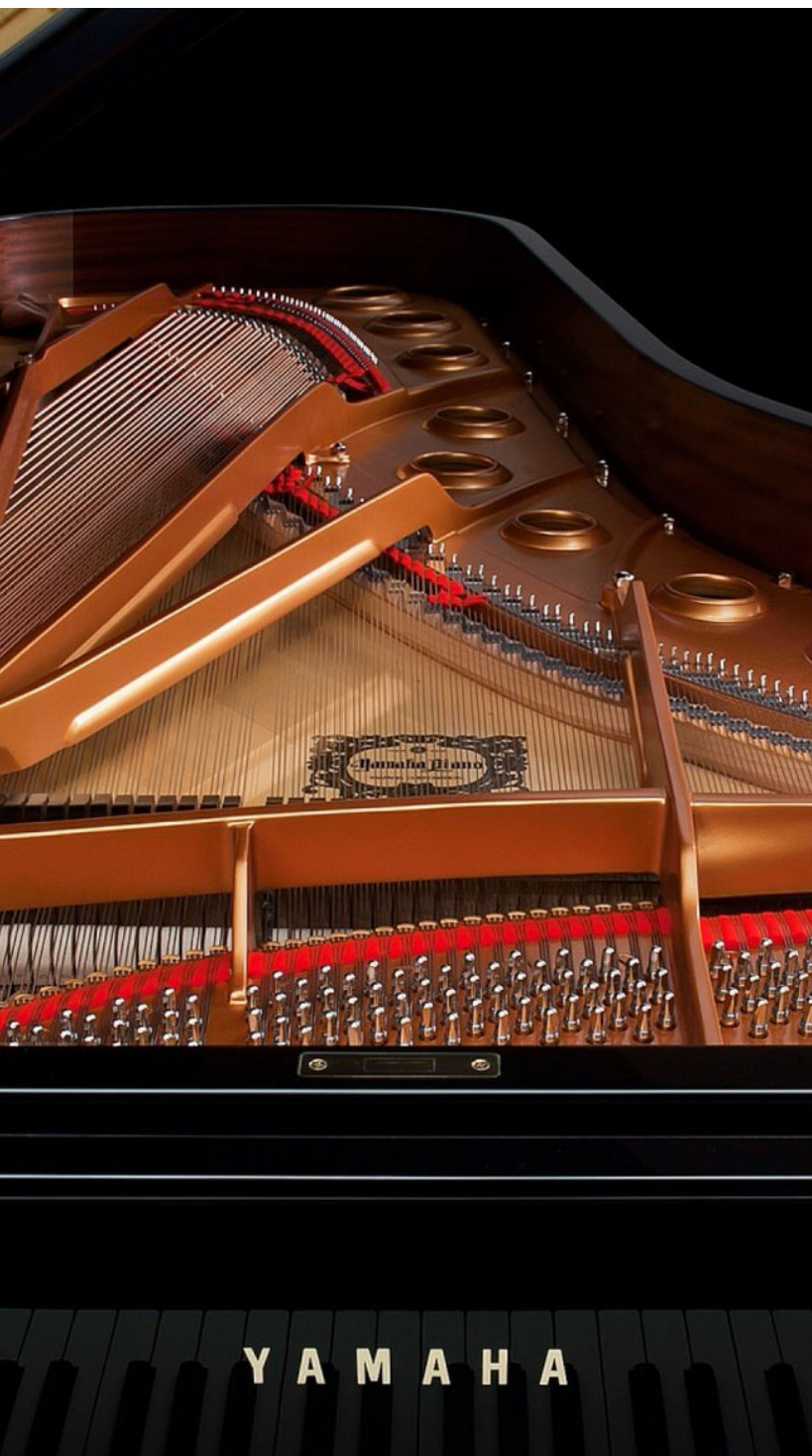
設備投資額/減価償却費

(億円)



研究開発費





4. トピックス

中期経営計画 重点テーマ

強固な事業基盤の再構築

技術x感性で磨く本質的価値を
追求した新商品

シンセサイザー



MODX Mシリーズ

ギター用 アンプ／ エフェクト・プロセッサ



Helix Stadium XL Floor

音楽制作機器

URX-Cシリーズ
UR-MK3シリーズ

ネットワーク機器

無線LANルーター NWR100
L2スイッチ SWX2320-30MC
L3スイッチ SWX3220-30MC

グローバルアーティストリレーション 強化

ヤマハアーティスト
サービスヨーロッパ パリ
を2026年1月にオープン

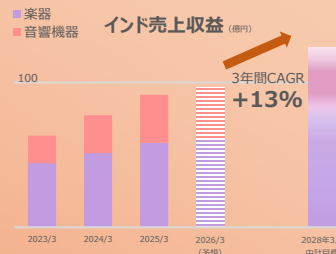
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2025/25090401/



未来を創る挑戦

重点市場への積極的投資による
売上成長

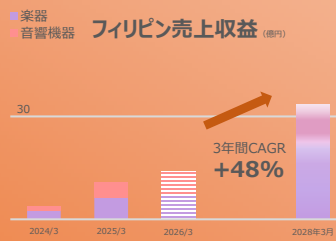
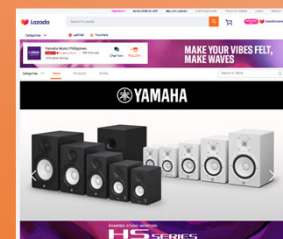
インド



バンガロールに音響機器エクスペリエンスセンターを
開設し、音響機器マーケティングを強化 (2025年6月)

<https://in.yamaha.com/en/business/audio/news/2025/0604-new-experience-center-in-bengaluru.html>

フィリピン



東南アジア最大級オンラインショッピングプラット
フォームLazadaへの出店予定 (2025年10月)

<https://www.lazada.com.ph/shop/yamaha-music-philippines/>

新規事業創出への挑戦

音を起点に新たな価値創出を目指すグローバル
ビジネスコンテストTRANSPOSE Innovation
Challengeを開催



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2025/25091001/

<https://yamaha-music.agorize.com/ja/challenges/transpose-innovation-challenge-2025>

協業を通じた新たなビジネスの創出

Yamaha Music Innovationsが東南アジア
最大規模のエンターテインメント企業POPSと
協業し、インドネシア・ベトナムでリアル・デジタル
融合プロモーションを展開 (2025年10月)



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2025/25092501/

中期経営計画 重点テーマ

サステナビリティを価値の源泉に

環境負荷低減の取り組み評価

ヤマハ管楽器エントリーモデルの梱包箱が
Pentawards 2025で金賞を受賞



サステナビリティや環境負荷低減
への取り組みを基盤として、
商品の価値と魅力を伝える洗練
されたデザインへ刷新



従来の梱包箱（左）と刷新後の梱包箱デザイン（右）

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2025/25100701/
<https://www.yamaha.com/ja/stories/for-our-future/packaging-redesign/>

超音波式ヒートシール検査機がJAPAN PACK
AWARDS 2025で最優秀賞を受賞



食品/医療包装や電池のラミネート不良を防ぐ超音波検査機で、省資源および廃棄によるロスコスト削減

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2025/25102101/

新興国の音楽教育普及の 取り組み拡大



リコーダーを用いた音楽教育の
試験導入の覚書締結



エジプト 教育・技術教育省
対象: 公立小学校100校



インド ナガランド州教育局
対象: 公立小学校40校

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2025/25082501/

幼児の音楽体験機会を創出し、 音楽文化の裾野を拡大

ベトナムの幼保園に
ヤマハの音楽教育
プログラムを提供



学研グループ会社が出資するベトナム エドテック企業と業務提携

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2025/25082902/

経営基盤の強化

世界中のヤマハの絆を深め 一体感を醸成

ヤマハブランドに思いをはせる日Yamaha Day
グローバル社内イベントをリアル・オンライン開催



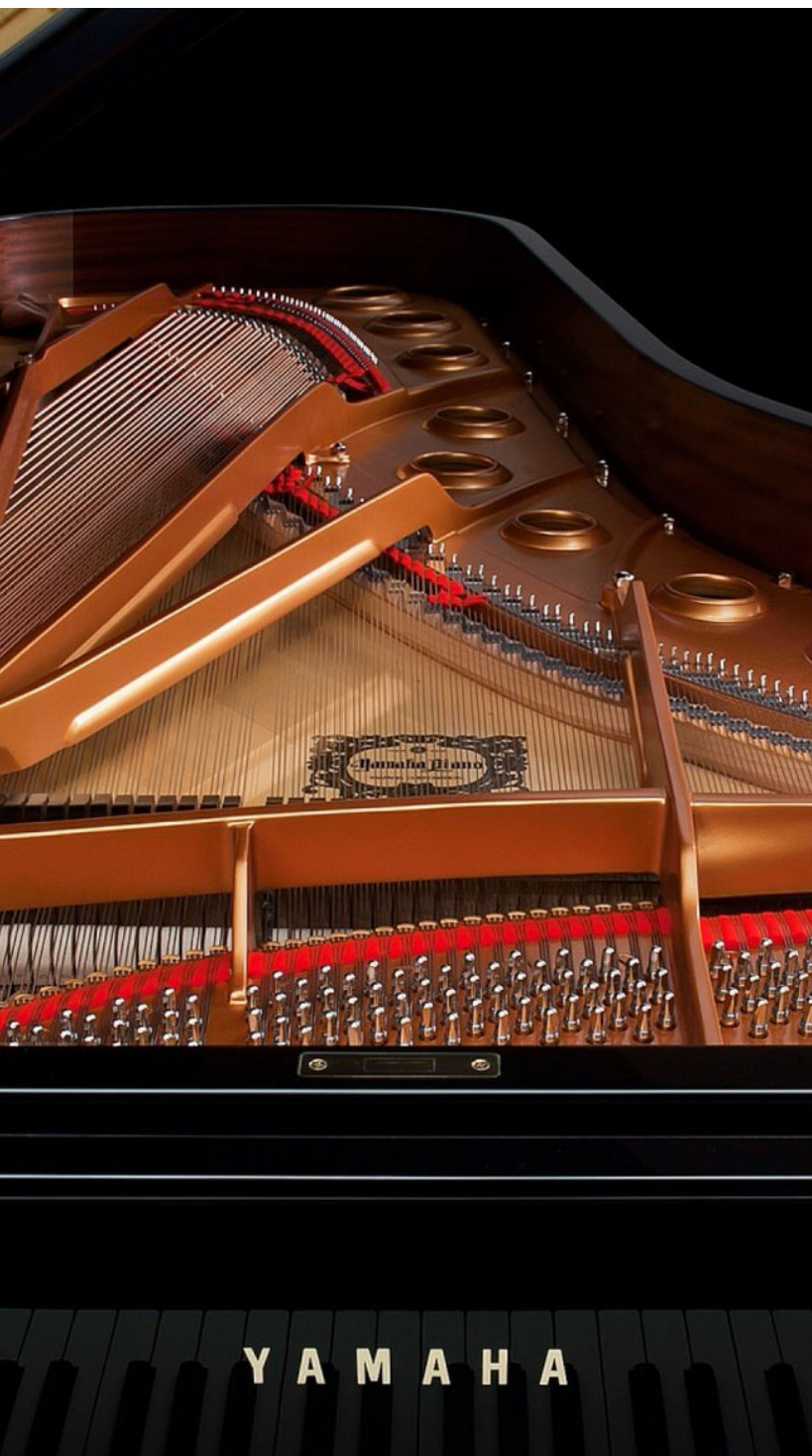
社長表彰Yamaha Awards 2025年度受賞者を発表

ステークホルダーエンゲージメント

統合報告書 2025発行



<https://www.yamaha.com/ja/ir/library/publications/>



付属資料

2Q 業績概要

(億円)

	25/3	26/3	前期比	
売上収益	1,160	1,125	△35	△3.0% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	112 (9.6%)	81 (7.2%)	△31	△27.6%
当期利益 ^{*1}	△42	74	115	+277.4%
為替レート (円)			^{*2} △2.9 % (為替影響除く)	
US\$	150	147		
EUR	164	171		

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

2Q 事業別実績

(億円)

		25/3	26/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	738	739	0	△1
	事業利益	64	56	△8	2
	事業利益率	8.6%	7.6%	△1.1P	
音響機器事業	売上収益	383	347	△36	1
	事業利益	52	31	△22	1
	事業利益率	13.6%	8.8%	△4.8P	
その他の事業	売上収益	39	39	1	△1
	事業利益	△4	△5	△2	△1
	事業利益率	△10.5%	△13.9%	△3.4P	

上期 その他収支等

(億円)

		25/3	26/3
事業利益		204	128
その他収益・費用収支	固定資産処分損益	△0	0
	その他	△84	△4
	計	△85	△3
営業利益		120	125
金融収支計	受取配当金	15	10
	その他	△44	7
	計	△29	17
税前提利益		91	142
法人税等		△38	△44
非支配株主利益		0	0
当期利益*		53	98

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

通期 その他収支等

(億円)

		25/3	26/3 (予想)
事業利益		367	330
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	4	△1
	その他	△164	△20
	計	△160	△21
営業利益		207	310
金融収支計	受取配当金	26	19
	その他	△8	△3
	計	18	15
税 前 利 益		225	325
法人税等		△90	△93
非支配株主利益		△1	△2
当 期 利 益*		134	230

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。